



2009年9月 石原社長 定例記者会見概要

9月30日午後3時より、石原社長による定例記者会見が放送センター20階、役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<編成関連>

今年度上期の視聴率は、第24週を終えた段階で、全日帯、ゴールデン帯、プライム帯5位と厳しい状況だ。7月20日より平日午後の改編を行なったことで、縦の流れが良くなり、『ひるおび!』や『総力報道! THE NEWS』の第一部は視聴率が上向いてきているが、厳しい視聴率環境を打破すべく、10月改編では16時53分から堀尾正明さんをMCに迎えて「イブニングワイド」をスタートさせ、18時40分からの『THE NEWS』はより内容を凝縮してお伝えする。夕方からG帯に及ぶ3時間を、スタイルの異なる2つの番組に分けて、メリハリをつけた報道ゾーンにする。

7月はドラマでも苦戦を強いられた。『官僚たちの夏』は新聞・雑誌などでも高い評価を受けたが、残念ながら、世帯視聴率に反映されるまでには至らなかった。個人の趣味が多様化しているので、世帯視聴率を伸ばすことは非常に難しくなっていると痛感している。10月以降も幅広いジャンルのドラマをラインナップすることで、多様な要望に応えていきたいと思っている。

石川(眞)常務:『イブニングワイド』は視聴習慣として17時台にニュース・情報番組を求めていることを再認識してスタートさせた。あらゆる情報・速報に食欲に喰らいつく“雑食系”番組を目指す。その後の『THE NEWS』と続けて見られるようなメリハリをつけた報道ゾーンに育てていきたい。

<活性化推進プロジェクト>

下期に向けては、何とか踏ん張ってレギュラー番組の強化に臨み、番組の企画開発に全力を注ぐよう現場に指示した。また、社内に「活性化推進プロジェクト」も立ち上げた。これは、今後のTBSを背負っていくライン部長や参事以下を中心に、現場や中堅クラスから率先して、視聴率アップと収益力アップのために編成・営業・番組制作の現場を活性化しようという「運動」だ。4月に行った構造的な改編の成果が思うように出ていないのは確かだが、本業の放送事業重視、番組重視、現場重視の姿勢で乗り越えたいと思っている。

<民主党政権への期待>

放送事業者にとっては2011年7月のデジタル完全移行が目下の最大の課題。民主党の政策集「インデックス2009」では「地上デジタル放送への円滑な移行」が明記されているし、原口総務大臣や新政権の情報通信政策担当者からは、「何がなんでも実施していきたい」との発言も聞いている。引き続き政府・自治体・放送事業者が一致協力して、取り組んでいければと考えている。

日本版FCCについては、現段階では具体的にどのような組織をイメージされているのか、いまひとつ明らかではないが、民放事業者が必死でデジタル化を進めている今の我々の状

況もよく聞いていただきたい。組織の新設が、規制強化につながらないよう、放送法の「表現の自由」や「番組編集の自由」がこれまで通り担保され、報道機関として社会的に不可欠な役割を果たせるよう望んでいる。

<営業概況>

第2四半期も残念ながらタイム、スポットとも前年実績を大幅に下回る見込みだ。タイムセールスは8月の世界陸上で売上げ予算を達成したものの視聴率低迷のため10月の改編作業は厳しい。スポットセールスでは東京地区の市況にやや回復の兆しが見えてきているが、同じく厳しい状況だ。

石川(康) 常務:タイムセールスでは『世界陸上』は予算を上回ることができたが、大型スポーツ単発が今年は少なく、レギュラーのカロリーダウンで前年実績を下回る見込みだ。スポットも東京地区投下量が少しずつ回復していく中、10月改編で視聴率を回復させるとともに、サカス広場との連動企画などにより、シェアを回復、売り上げ増に結び付けたい。

<赤坂サカス>

2008年3月にオープンした赤坂サカスは、2009年9月に来場者数が1300万人を超えた。“水”と“環境”をテーマに実施した「夏サカス サカスウォーターパーク」には、ファミリー層を中心に45日間で148万2千人の方々にお越しいただいた。9月からは農林水産省が立ち上げた「マルシェ・ジャポン・プロジェクト」の東京赤坂の開催地として「赤坂・サカスマルシェ」を毎週土曜、日曜、祝日に開催している。このプロジェクトは、日本の農林水産物本来のおいしさや新しい価値を通じて、生産者の方々と消費者の方々の新たな出会いの場としての市場を開催するもの。来年3月まで続く。また10月のピンクリボン月間にあわせてTBSでは10月1日をピンクリボンデーとし、赤坂サカスのギャラリーで、乳がん撲滅運動ピンクリボンに関連したシンポジウムを行うほか、様々なイベントを行う。そして冬には、昨年大好評を得た「アイススケートリンク」を中心として、番組と連動したイベントの実施や、赤坂サカスの街全体を彩るイルミネーションなどで来場者に温かみのある空間をご提供する「ホワイトサカス」を、11月13日から実施する(2月28日まで)。今年のテーマは「LOVE」。ご期待いただきたい。

<映画関連>

「ROOKIES～卒業～」は公開107日間で興行収入84億6000万円、動員696万人となり、歴代TBS映画で最高だった「世界の中心で愛を叫ぶ」(2004年度作品)を越えて歴代1位になるとともに、日本映画歴代ベスト10入り(映事調べ)となった。また昨年度公開し日本の映画作品として初めて米国アカデミー賞外国語映画賞を受賞した「おくりびと」は全国各地で公開時と同一料金での驚異的なロングラン興行を続け、ついに9月13日に一周年を迎えた。邦画作品としては史上初の快挙となった。

<TBS R&C> 加藤社長

8月17日から30日まで行なわれた聴取率調査において、TBSラジオは1.4%で個人聴取率単独首位を獲得した。2001年8月以来、連続トップを49期(8年2ヶ月)に伸ばした。大沢悠里さん、森本毅郎さんなどTBSラジオのワイド番組が上位7位までを独占した。

10月はナイターゾーンを中心に18%の改編を行なう。1986年から23年半続いた森山良子さんの『ハートオブポップス』が10月2日、6070回の放送で終了する。また、TBSラジオの早朝の顔として定着してきた『生島ヒロシのおはよう定食&一直線』も、10月5日に放送3,000回を、『毒蝮三太夫のミュージックプレゼント』が、この10月で40年を迎えることとなった。支えてくださったクライアントの皆様、そして何よりリスナーの皆様のご愛顧にも感謝したい。

以上